

令和2年第5回筑紫野市教育委員会定例会

○日 時

令和2年6月25日（木）午後2時00分から午後3時16分

○場 所

筑紫野市役所 301会議室

○出席委員（5名）

教育長	上野 二三夫	教育委員	近本 明
教育委員	潮見 眞千子	教育委員	田代 邦夫
教育委員	牛川 由美		

○欠席委員（0名）

○出席説明員（10名）

教育部長	長澤 龍彦	教育政策課長	吉開 和子
学校教育課長	嵯峨 栄二	学校給食課長	倉掛 伸夫
生涯学習課長	檜木 理恵	文化財課長	宮原 博揮
文化・スポーツ振興課長	大久保 泰輔	主任指導主事	磯部 年晃
指導主事	村岡 陽子	社会教育主事	田中 翔

○出席事務局職員（1名）

教育政策課
庶務担当係長 葉山 順子

○議事日程

1. 教育委員会会議録の承認について

令和2年第4回筑紫野市教育委員会会議録（令和2年5月28日開催）

2. 教育長の報告について

3. 議案第18号 令和2年度学校運営協議会委員の委嘱について

4. 議案第19号 筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会委員の委嘱について

5. 議案第20号 令和2年度筑紫野市一般会計補正予算（第2・3号）教育費について
6. 議案第21号 指定管理候補者の選定について
7. 部課長の報告について
8. その他
9. 次回の日程 令和2年7月30日（木）14時00分 301会議室

会議録

○教育長：皆さん、こんにちは。本日の会議には、3名の傍聴の方がありますので御報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは定刻となりましたので、ただいまから令和2年第5回筑紫野市教育委員会定例会を開会いたします。

会を始める前に、今度新しく西村幸子教育委員の後任として、牛川由美さんが就任されましたので、最初に御挨拶を頂いてよろしいでしょうか。

○牛川教育委員：こんにちは。今月より教育委員をさせていただくことになりました牛川由美と申します。高校2年生の息子と中学3年生の娘がおります。何分初めてのことで非常に緊張しておりますが、皆様の足を引っ張らないようにと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(拍手)

○教育長：ありがとうございました。

それでは、これより議事日程の順序に従い、会議を進めてまいります。

なお、発言は議長の許可を得た後にお願いを致します。

日程第1、教育委員会会議録の承認の件

○教育長：令和2年5月28日開催しました令和2年第4回筑紫野市教育委員会会議録について、承認していただけますでしょうか。

○(特になし)

○教育長：ありがとうございます。御異議なしと認めます。よって、本件については承認をされました。

日程第2、教育長の報告の件

・市の定例の校長会について

(4月から採用された新規採用教職員について、学校の日常的なコロナ感染防止のために取組について、熱中症対策についての取組について、本年度の自然教室及び修学旅行について、不登校傾向の児童・生徒への対応について、児童・生徒の問題行動に対する対応について、教職員の心的疲労、精神的な疲労、身体的な疲労について)(家にいるよりも本当に学校は楽しいところだということが実感して言えるような、そういう授業であったり、そういう子どもたちとの関係がくれたり、先生との関係がくれたり、いろんな形で充実した学校生活が本当に送れていくようにお願いをした。)

○近本教育委員：中学校は修学旅行団というのは結成していますか。

○教育長：はっきり団というのはできてないです。あるのですが、規模が小さくなっています。我々が現職のときは、23校が全員でした。ところが、太宰府市をはじめ、少し関西のほうに行くということで少し中身が変わってきています。7校、8校で連合を組み南九州に行くなどというところはまだ残ってはおります。

○田代教育委員：最後に説明いただいた教職員の疲労というところで、テレビとか見ていると、学校、地域によっては、教職員の方がトイレ掃除などをしているというニュースもたくさん流れていますが、筑紫野市内は今どんな状況で対応されていますか。

○教育長：ふだんの学校生活では自分たちが使うところですから、子どもたちがやっていますが、現状では、児童・生徒が帰った後、いろんな消毒を含めて、職員の手による掃除があると思います。

○田代教育委員：生徒が使うところは生徒がやるということですか。

○教育長：そうです。ところが、さっき言いましたように、コロナ関係で隅々まできちんと消毒するというについては職員がやっています。我々教育委員会の事務局も、消毒液を作ったり、援助に行っております。大事なところだけは職員がきちんと押さえているのではないかと思います。

○磯部主任指導主事：補足を致します。今、教育長が申し上げましたとおり、ふだんの清掃活動、例えば教室であったり、トイレであったり、いろんなところはもちろん児童・生徒が行いますが、帰った後、清掃そのものを補充するというよりも、子どもたちが手にするであろうドアノブであったり、スイッチの関係であったり、そういうものに関しては教員のほうが、いま一度きちんと翌朝に備えて消毒をするということを行っています。

また、学校によっては、例えば給食等で、学校でお盆を準備したり、御家庭からお盆を準備してもらったりしている学校もありますけれども、子どもたちはきちんと拭いてはいますが、そのお盆をきちんと再度洗って、消毒液をつけてとされています。例えば、学校で一括購入しているものは誰が使うか分からなくなるので、そのため消毒など行っています。教員は、主には消毒作業ということで行っています。ただ、実際のところ手が足りないのも事実でございますので、我々教育委員会のほうで、事務局のほうでも手分けをして、消毒液作りであったりとか、お盆を洗いに行ったりとか、そういうふうなことは適宜、派遣して行っているところでございます。

○教育長：よろしいでしょうか。

○田代教育委員：はい、ありがとうございました。

○潮見教育委員：やはり今回コロナということで、ここの報告で今お聞きしたとおり、子どもたちの様子とか、先生たちの疲労度というか、そういうのがかなりあると思います。今おっしゃった不登校の子どもたちや問題行動が増えているというのは、やっぱりコロナの影響というのも大きいようですか。

○教育長：直接はどうでしょう。ただ、長く家にいて割と自由に生活していたら、今度は窮屈な学校の時間帯で生活していますので、その辺りの順応の仕方があります。ただ、不登校の子たちもみんなと一様に休んでいましたから、気分を変えて出てきている子も中にはいるようです。

「出てきたから、みんなと一緒にだ」となると、やはり少し無理して出てきた不登校の子たちはきついです。ですから、少し配慮する必要があるということは校長会でもお願いをしました。

○潮見教育委員：やはり今までと違った対応を、それぞれ気を配りながら、どちらもしていけないということでしょう。

○教育長：そうです。そこが一番大事だと思います。意外と先生たちは一様に見てしまうので。

「おっ、来とんなら、お前ちゃんとやれ」みたいに、若い人ほどその辺りが見えないので、ベテランの先生はその辺りをきちんと酌んで、きちんと対応してくれるだろうと思います。その辺りはきちんと私たちも気をつけて指導したいと思います。

○潮見教育委員：大変だろうと思いますけど、お願いいたします。

○教育長：ありがとうございます。ほかよろしいですか。

○（特になし）

○教育長：それでは、私からの報告については終わりたいと思います。ありがとうございました。それでは進行します。

日程第3、議案第18号、令和2年度学校運営協議会委員の委嘱についての件

○学校教育課長：（提案内容の説明）

○教育長：本件について何か御質問等はございませんでしょうか。

○潮見教育委員：今年度の感想としましては、各地域、各学校のコミュニティの運営協議会の中に、地域のコミュニティの方が結構増えてきたという感想を持ちました。今から地域コミュニティとの連携を持っていく上ではいいことではないかと、進めていただけたらいいと思います。

それと、もう1点ですが、昨年4月にこの学校運営協議会の報告書を出していただいています。少し読ませていただいていたら、去年言えばよかったのですが、随分、各学校、地域に根差したというか、地域に沿った行事などを計画されて、子どもたちを関わらせていただいているという感想も持ちました。その中の課題もいろいろ書かれていまして、地域支援本部の充実とか、地域への啓発の仕方とか、それぞれ出されていました。その辺はこの1年の間に何か変化があったかどうかということをお尋ねします。

○学校教育課長：いろんな報告書を各運営協議会から出していただいております。それをそれぞれの全ての協議会に報告という形でお渡しして、参考になればというところではしておりますので、各地域でそれを基にまた新たなそういった協議会の議題とかにのせていただい

ていると思っています。

○潮見教育委員：コロナの関係では何か、学校運営協議会の中でこうしたらいいとかいうお話はまだ出てはないですか。

○学校教育課長：まだ運営協議会自体がコロナの影響で、6月に、最近始まったばかりということにもなり、協議会の中でまた今から始まっていくということになりますので、その中でお話しがなされるかと思っています。

○潮見教育委員：きっといいお知恵を出していただけると思いますので、ぜひその辺を広げていただけたらと思います。

○学校教育課長：ありがとうございます。

○教育長：ありがとうございます。よろしいでしょうか。では、ほかにございませんか。

○（特になし）

○教育長：それでは、質疑を打ち切ります。本件を承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：御異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認を頂きました。ありがとうございます。

日程第4、議案第19号、筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会委員の委嘱についての件

○生涯学習課長：（提案理由の説明）

○教育長：この件につきまして何か質疑がありましたら。

○（特になし）

○教育長：それでは、異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認を頂きました。ありがとうございます。

日程第5、議案第20号、令和2年度筑紫野市一般会計補正予算（第2・3号）教育費についての件

○教育政策課長：（提案理由の説明）

○教育長：この件につきまして何か質疑がありましたら。

○田代教育委員：すみません、なかなか咀嚼できないのですが、それぞれ基本的にどういう内容ですか。第2号のほうは何となく理解できるのですが、第3号のほうがよく分かりません。

○教育政策課長：第3号のほうをそれぞれ少し説明させていただきます。小学校スクール・サポート・スタッフ等配置事業とか中学校スクール・サポート・スタッフ等配置事業というのは、小

学校や中学校の感染症対策や学習支援を行うためにスクール・サポート・スタッフや学習支援員を配置する事業でございます、各学校2名ずつの予算を計上しております。

○教育長：1校に2人配置して、それぞれ業種が違いますので、32名で一応予算を組んでもらっているということです。

○教育政策課長：資料作成の補助をしたり印刷物をしたり、あとは清掃、消毒などの補助をする方を配置したいと考えております。

○教育長：先生方の働き方改革といいましょうか、教職員の負担軽減にもつながるというところもあると思います。

○田代教育委員：先ほど何となく分かると言いました第2号のほうですけども、ICTの環境を整備するに当たってかなり大きな金額が出ているわけですが、なかなか国庫補助といいますか、歳入のほうにそれにあまり見合っていないような感じがするのですが、このくらいの割合ですか。

○学校教育課長：タブレットのほうは、3分の1が市の持ち出し、3分の2が補助です。

○教育長：国の補助が3分の2で、単費で3分の1ですか。

○教育政策課長：補足します。公立学校情報機器整備費補助金のほうは、3分の1が市の手出しで、3分の2が補助です。公立学校通信ネットワーク環境施設整備費補助金は、2分の1が市の単費で、2分の1が補助になります。

○学校教育課長：全てが2分の1ということにはならず、ほかにも市単費で行う部分がございます。事業費の全てがそういった補助の分ということにはならないので、若干、市単費、市債とかで行う分がございます。

○田代教育委員：そうしますと、市の負担は相当大きいものがありますか。

○教育長：はい。今回特に大きいです。そこまでしてやっぱりやっていくという市長の腹も見えました。

○田代教育委員：それはどこの自治体も一緒ですか。

○教育長：そうです。

○田代教育委員：分かりました。

○教育長：ありがとうございます。ほかにございませんか。よろしいですか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。それでは、本件に対する承認を頂きました。

日程第6、議案第21号、指定管理候補者の選定の件

○文化・スポーツ振興課長：（提案内容の説明）

○教育長：説明ありがとうございます。今、大久保課長のほうから指定管理者候補者の選定に

ついで理由を説明いただきました。この件につきまして何か質疑がありましたらお願いします。

○近本教育委員：直接今言ったこととは関係しないけれども、定款は読みましたか。

○文化・スポーツ振興課長：はい、一応目は通させていただきます。

○近本教育委員：定款で変えたほうが良いようなところがあれば、その辺は考えていかないといけないのではないかと思います。意見です。

○教育長：もう1回定款を見てもらって、この時期に少し修正するほうがよければ、またそういうことが必要であると考えられれば、1回その辺りを見てもらったらという意見を言われたということですか。

○文化・スポーツ振興課長：はい、分かりました。ありがとうございます。

○教育長：詳しい定款があるのですか。

○文化・スポーツ振興課長：あります。

○潮見教育委員：それに加えてですが、もう35年以上建物が建っていて、かなり老朽化しています。修理もいつも市のほうと協議をしながら、市のほうにも負担していただいたりしながら運営されているのですが、少しでも経費を削減しようとして、職員さんたちで草取りをしたり、清掃も自分たちでしたりとか、いろいろ苦勞されています。その辺は多分文化・スポーツ振興課のほうも御存じです。

○文化・スポーツ振興課長：はい。

○潮見教育委員：そこのところを、既にされているとは思いますが、さらに現場のほうと体育協会の現状を踏まえて、よく協議しながら、今から選定作業に入っていただけたらと思います。

○教育長：課長、よろしいでしょうか。

○文化・スポーツ振興課長：はい、分かりました。

○潮見教育委員：お願いいたします。

○教育長：貴重な御意見だと思いますので、よろしくお願いします。

○田代教育委員：今、潮見さんが言われたように老朽化していますが、たしか春日市とか太宰府市あたりとほぼ同じ時期にできたようなことを伺っていたのですが、向こうのほうは建て替えられております。造り替えられているのです。ただ、ここに書いてある五つの施設、特に農業者トレーニングセンターとかいうのは、非常に手入れがいいからだと思うのですが、状況がいいです。とてもいい状況ではあるのですけれども、いかんせん40年近く前にできたものですから設備的なものはどうしようもない部分があって、今の時代にそぐわないというように確かに感じます。しかし、非常に良好に手入れがされていて、よく長もちしているという感じはしています。

ただ、それと少し違う話になりますが、今回、指定管理者として3回目の更新になるわけですが、いわゆる特命の随契のような形でずっと来ていますが、もうそろそろ1回公募という形を取

ってみて、いろんなところが名のりを上げてきたら、またいろんない意見とか考え方もあって面白いかと思えます。結果的に体育協会になるにせよ、何か違う風が入ってくるのではないかと考えます。次回そういったことも検討してみられたらと思えます。

○教育部長：今回御提案させていただきました内容については、次期指定管理者の公募によらない方法で一般社団法人筑紫野市体育協会を指定管理者と選定したいという御提案でございます。今、貴重な意見を頂きましたので、また次の機会、そういったところの御意見も含めて検討しながら進めてまいりたいと思えますので、どうぞよろしく願いいたします。

○教育長：よろしいでしょうか。

○田代教育委員：はい。

○教育長：よろしく願います。では、この件につきましてよろしいでしょうか。

○（特になし）

○教育長：原案のとおりで、御審議いただきましてありがとうございます。

以上で、本日の議事は終了いたしました。

続きまして、各課等からの報告に移ります。

○教育部長の報告

- ・6月議会の報告

○教育政策課長

- ・同和問題講演会中止のお知らせ
- ・街頭啓発の中止のお知らせ

○学校給食課長

- ・小学校と中学校の7月分の献立表について

○生涯学習課長

- ・令和2年度生涯学習関連事業予定表について

○文化財課長

- ・6月9日、五郎山古墳館を視察について（お礼）
- ・文化庁の日本遺産認定制度について

（平成27年に太宰府市が認定を受けました古代日本の「西の都」でございますが、先日19日に地域を拡大するような新たな追加の変更の認定を受けております。今回、関係自治体として福岡県が中に加わりまして、筑紫地区5市、また宇美町、佐賀県の基山町になりますが、こういった構成団体をもって、太宰府市を中心にはなりますけど、構成する史跡、また文化的に貴重な価値のある歴史的遺産を日本遺産として認定を受けております。

本市にあつては10項目の追加認定を受けております。現在、市のホームページ、また県のホームページに具体的な内容は掲載されておりますが、昨日もNHKの6時10分のニュースで、二日市温泉は次田の湯ということで古くから温泉がございますので、こちらが若干特集を頂いたという状況でございます。)

○田代教育委員：すみません、一つ戻りまして、文化・スポーツ振興課長にお尋ねしたいのですが、今グラウンドとかは使える状態ですが、試合とかは駄目ですという状態になっております。今後の見込みと申しますか、どんな状況なのか、それがどうなったら解除されるものなのか。もし決められている基準がありましたら教えていただきたいです。

○文化・スポーツ振興課長：おっしゃるとおり、大会とか大きなイベントというのは利用等に制限をかけているのですが、内部で検討し、7月1日をめどに一部利用再開を目指し、今準備をしているところです。確かに人数制限とかはかけないといけないようにはなりますが、大会やイベントができるという形を取ってまいりたいと考えています。

○教育長：そういう大会が、これからだんだん入ってくるでしょう。

○文化・スポーツ振興課長：そういったお話とかも頂いたりしています。

○田代教育委員：大会とかするに当たって、いろんな条件と申しますか、こういった対応をしてくださいというような項目が生涯学習センターの中にいっぱいあるのですが、やはりいろいろな制約がつくわけでしょうか。

○文化・スポーツ振興課長：大会によらず、今、小学校の体育館とか、それから農業者トレーニングセンターとかも社会体育の団体さんとかに利用していただいております。その中では、利用された後は施設の消毒や入場される前にはもちろん検温とか、そういったお願いをして、それから利用してくださいと伝えておりますので、大会についても同じような形を考えております。

○教育長：何か御要望があれば、よろしいですか。

○田代教育委員：特にないです。ありがとうございました。

○教育長：よろしく願います。ほかにございませんか。

○(特になし)

○教育長：それでは、続きまして、その他に移りたいと思います。教育委員の皆様、または部課長さんのほうから何かありましたら出してください。

○近本教育委員：この間、五郎山古墳を見学させてもらって、筑紫野市にはいろんな遺産があるので、「こういうような催しをしていますよ」というのを、大人向けではなくて、小学校5年、6年生が理解できるようなやさしい言葉で広報していけばどうかと思いました。広報はよく、どこで昔の暮らし展があつておるとか、そういうのがありますが、あれは大体大人向けみたいです。

子ども向けに分かるようにしていったら、子どもたちが筑紫野市を愛するとか、筑紫野市の文化をまた伝承しようとか、そういうところを育てることになると思います。子ども側に立ったいろんなことを、それだけではなくて発信していくような工夫ができるものならしてほしいと思います。これは希望です。

○文化財課長：子ども向けというのは、学校との連携で対応している部分がございますけど、それ以外にも子どもさん向けに対応するようにイベント等は調整を図っていきたいと思います。

○教育長：よろしく願います。子ども側に立ったと言われましたので、その辺りにうまく視点を置いてひとつやっていただくとありがたいです。

○田代教育委員：すみません、最後に一つだけ。前回のこの委員会の中で、授業時数が少なくなったことに対する説明を頂いたのですが、そのときに4月、5月は体育祭を中心にして集団づくりに当てる時間が多いと伺って、それなりに納得したのですが、後で考えてみますと、その集団づくりに当てる時間とか場面がなくなっている状況の中で、今、新学期はどのような形でスタートしているのかと思いました。もしかしたらいろいろな弊害が出ているのか、それとも「いや、少しも変わりませんよ」というものなのか、その辺りをお聞かせいただきたいと思います。

○磯部主任指導主事：この前、先月お話しさせていただいたのは、集団づくりというのは主に生徒会活動を中心として集団行動とかいろんなことをやっていくのに多くの時間をかけていくと御説明申し上げましたが、今、学校が5月25日から再開し、新しい生活様式、つまり新しい学校での生活様式となりつつあります。

具体的なことを申し上げますと、今日も校長会の中で、ある小学校長が申ししておりましたが、今まで小学校は席をくっつけていました。でも、今はくっつけることはほぼほぼ難しくなっていますので、離しています。今まではいろんなことをお話ししながら、「じゃあ、ちょっとお隣さんと考えてみようね」などとしていたのが、なかなかそれも難しくなっている。

もちろんそれ以外にも、学級生活、学校生活といったところを年度当初にやっていたのを、今、新しい生活様式と併せながら、徐々に徐々に子どもたちに指導していくといったところになっています。今まで集中的にやっていた分をかなり分散していくということと、それと同時に、また学校側もまだ手探りの状態であるのが実情です。

例えば中学校の運動部活動です。先週、我々指導主事で分担して見に行きましたが、やはり学校側でも、ここまでやっていいのだろうかとおっかなびっくりの状況です。まだまだ基礎的なトレーニングのところもありますし、体育館とかでいっぱいいろんな部活が入ってきたときには、片一方があっているときは見学しておくとかいう形になっているというのがあります。学校側もまだまだ戸惑いながら学校生活を再開しているといったところが実情ではないかと思っています。

現状のところ、今まで集中的にやっていたのを徐々に徐々に、新しい生活様式と併せながら進

めているというのが事実ではないかなと思っています。

○教育長：よろしいですか。

○田代教育委員：はい、ありがとうございました。

○教育長：ありがとうございます。今言われたように、1か月経過しまして、やっと学級の組織とか、学年の組織とか、何か今決まり事がやっと落ち着いて、さあこれからという感じです。もちろん今まで未履修の勉強が終わって、本来のその学年の勉強に入っていますので、少しずつこれからその辺りは整っていくのでないかと思います。

ただ、今言われました、話し合い活動とか、実際体育会がありませんでしたから、3年生の出番がありませんでした。集団づくりの委員会をすると学年が中心となってやっていくしかない、全体でというのは少し無理です。そういうところが今あっているかと思います。

今、主任が言ってくれましたように、やはり部活動もこれからだと思います。ところが、3年生はすぐ引退が近まっていますので、消化不良のまま7月を迎えるのかなという気はします。しかし、どの学校も落ち着いてきています。それは非常に見てありがたいと思っています。これは、やはり校長先生をはじめ先生方が本当に子どもたちと向き合って一生懸命やってくれているおかげだろうと思います。もちろん保護者の人たちのいろんな支援も忘れてはいけないと思っています。以上でございます。よろしいでしょうか。

○田代教育委員：はい、ありがとうございました。

○教育長：ありがとうございました。

それでは、これもちまして、令和2年第5回筑紫野市教育委員会定例会を閉会いたします。どうもありがとうございました。